

●西山万歳保存会

万歳は「新しい年が良い年であるように」との願いを寿ぎのセリフに込めて舞う正月の祝福芸。西山（現在の西岡町）に伝わる万歳は、江戸時代には刈谷藩の江戸屋敷にまで出かけていったと伝わるが詳細は定かでない。地元・堤小学校の児童への指導を行っている。平成 17 年には愛・地球博の舞台に出演した。

●竹村チャラボコ保存会

チャラボコは祭礼に奉納されるお囃子の一種で、三河地方特有のものと言われている。竹村には幕末に伝わったとされ、昭和 16 年まで秋祭りの折に奉納されていた。戦争による中断後復活し、現在は竹村チャラボコ保存会として秋祭りでの奉納やチャラボコの普及・継承に務めている。

●藤沢水神囃子保存会

藤沢町の水神囃子は矢作川の竹木材運搬や渡船の安全を祈願して、江戸時代後期より行われてきた。戦時中に一時中断したが、戦後に復活した。現在は東広瀬小学校の児童と保存会のメンバーが、毎年 8 月 15 日に行われる「舟万灯まつり」で水神囃子を奉納している。

●中根神楽保存会

神楽とは神様を祀るために演じられる神事芸能で、市内の神楽は地元の子どもの巫女舞を伴っている。中根町の神楽は明治 43 年頃、当時の青年会を通じて習い覚え、祭礼で奉納したのが始まりとされている。毎年秋の大祭で、地元の小学 3～5 年生の女子を巫女として巫女神楽を奉納している。

●迫祇園保存会

祇園とはお囃子の一種で、迫（旧藤岡町）の祇園は明治の中頃に伝わったとされ、地元の祭礼などで奉納されてきた。古くから伝えられてきた「祇園太鼓」を貴重な伝統芸能として大切に守り伝えたいという思いから保存会を結成し、地元の津島神社、秋葉神社、磯崎神社の祭礼などで奉納を行っている。